■ SM物流研究会 参加企業各社の取り組み状況(2025年10月末時点)

社名	加工食品における定番商品の 発注時間見直し	特売品・新商品 発注・納品 リードタイム確保	納品期限 1/2ルール採用	流通BMS 導入	予約受付システム 導入・活用	バラ積み納品の 削減推進	トップ 合意
サミット	0	0	0	0	0	0	0
マルエツ	0	0	0	0	0	0	0
ライフ	0	0	0	0	0	0	0
ヤオコー	0	0	0	0	0	0	0
カスミ	0	0	0	0	0	0	0
西友	0	0	0	0	0	0	0
いなげや	0	0	0	0	0	0	0
東急ストア	0	0	0	0	0	0	0
原信・ナルス	0	0	0	0	0	0	0
平和堂	0	0	0	0	0	0	0
エコスグループ (参加4社合同)	0	0	0	0	0	0	0
イト一ヨーカ堂	0	0	0	0	0	0	0
ベイシア	0	0	0	0	0	0	0
万代	0	0	0	0	0	0	0
オークワ	変更に向けて調整中	0	0	0	0	0	0
マルアイ	0	0	0	0	0	0	0
京成ストア	2026年2月変更予定	2026年2月変更予定	2026年2月変更予定	0	ー ※TCのみ運営	0	0
ウオロク	2026年3月に変更予定	0	0	0	0	0	0
とりせん	2026年2月に変更予定	0	0	0	0	0	0

Copyright (C) 2025 SM物流研究会 All Rights Reserved.

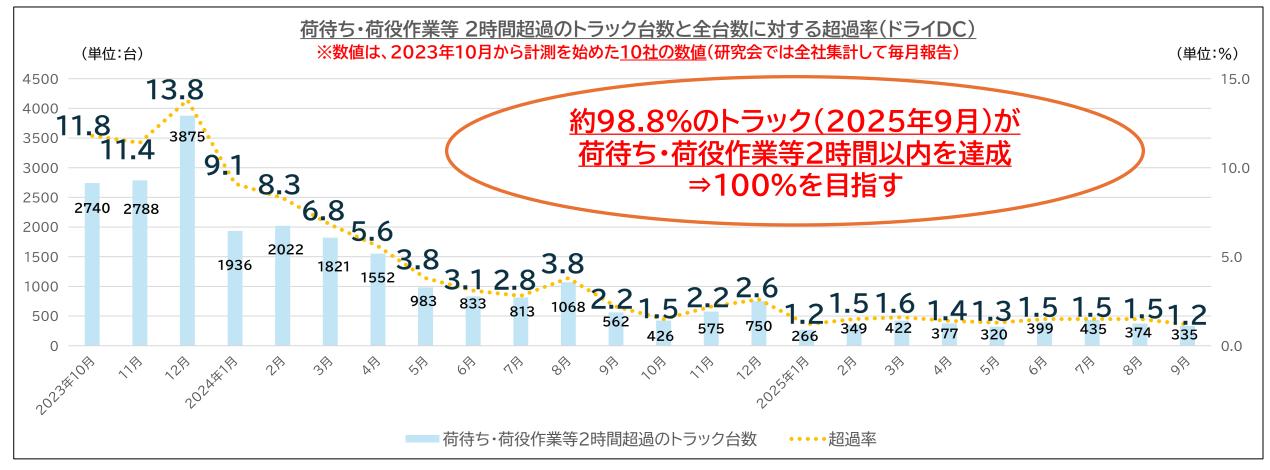
■ 荷待ち時間の計測状況



※2025年9月 21社集計 荷待ち 1時間超過のトラック台数 765台(全台数に対する超過率1.6%) (京成ストア、とりせんはドライTCのみの運営のため、上記のドライDCは計測していない)

バース予約率の向上 ⇒入荷トラックの状況把握(積載物・バラ・パレットなど)が可能となり、 物流センターでの受入れ体制が構築できる(荷待ち・荷役作業等時間の短縮に繋がる)

■ 荷待ち・荷役作業等時間の計測状況



※2025年9月 21社集計 荷待ち・荷役作業等 2時間超過のトラック台数 1,069台(全台数に対する超過率2.2%)

(京成ストア、とりせんはドライTCのみの運営のため、上記のドライDCは計測していない)

荷役時間の短縮(「バラ積み」⇒「パレット積み」など)に向けて取り組む

- ⇒製・配・販で意見交換を行い、全体最適を目指す
- ※今までは、ドライDCを中心に計測していたが、ドライTCの計測も行っている。最終的にはチルドセンター、生鮮センターの計測に向けて検討中。

Copyright (C) 2025 SM物流研究会 All Rights Reserved.